

社会保険料計算ステップ & 年収別確認 チェックリスト

1.料率資料の確定

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	使用する年度の料率資料を確定した - 補足：協会けんぽは支部ごとに健康保険料率が異なる
<input type="checkbox"/>	2026（令和8）年度の協会けんぽ東京支部の例として、 健康保険料率9.85%、介護保険料率1.62%、子ども・子育て支援金率：0.23%を確認した
<input type="checkbox"/>	介護保険料率は全国一律である前提を確認した - 基準：協会けんぽの第2号被保険者は1.62%
<input type="checkbox"/>	厚生年金保険料率が18.3%で固定であることを確認した - 補足：2017年9月以降は18.3%で固定

2.対象者の判定

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	健康保険・厚生年金の被保険者であることを確認した
<input type="checkbox"/>	介護保険の対象判定を行った - 補足：40歳以上64歳以下は介護保険料を加算する
<input type="checkbox"/>	雇用保険の加入有無を確認した

3.支給額の確定

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	今月の給与の総支給額を確定した
<input type="checkbox"/>	報酬に含める支給項目を確定した - 補足：標準報酬月額元になる報酬は基本給以外の手当も含めて整理する、臨時に受ける手当や年3回以下の賞与などは含まない（標準賞与額元になる）
<input type="checkbox"/>	賞与の総支給額を確定した

4.標準報酬月額の設定

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	適用中の標準報酬月額を設定した - 補足：定時決定、随時改定、資格取得時決定のどれで決まっているかを記録する
<input type="checkbox"/>	定時決定の適用期間が9月分から翌年8月分である前提を確認した
<input type="checkbox"/>	随時改定の要否を判定した - 補足：固定的賃金の変動後、3か月平均の報酬に基づく標準報酬月額の等級と現在の標準報酬月額の等級に2等級以上の差が出た場合を想定して点検する

5.月次控除の計算

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	健康保険料の従業員負担額を計算した - 基準：標準報酬月額×健康保険料率÷2
<input type="checkbox"/>	介護保険料の自己負担額を計算した - 基準：40歳以上64歳以下のみ、標準報酬月額×介護保険料率÷2
<input type="checkbox"/>	子ども・子育て支援金の自己負担額を計算した - 基準：標準報酬月額×子ども・子育て支援金率÷2
<input type="checkbox"/>	厚生年金保険料の自己負担額を計算した - 基準：標準報酬月額×18.3%÷2
<input type="checkbox"/>	雇用保険料の自己負担額を計算した - 基準：給与総支給額×労働者負担料率

5.月次控除の計算

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	端数処理のルールを社内ルールに合わせて適用し、控除額を確定した - 補足：端数処理が未確定だと控除差異が残るため、必ず固定する
<input type="checkbox"/>	月次控除の内訳と合計が一致することを確認した
<input type="checkbox"/>	控除タイミングが「当月分を翌月納付」と一致することを確認した - 補足：料率変更月は控除月と納付月の取り違えが起きやすい

6.賞与控除の計算

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	標準賞与額を算出した - 基準：税引前の賞与総支給額から1,000円未満を切り捨てる
<input type="checkbox"/>	健康保険の標準賞与額の上限を確認した - 基準：年度累計573万円が上限。年度は4月1日から翌年3月31日
<input type="checkbox"/>	厚生年金の標準賞与額の上限を確認した - 基準：1か月あたり150万円が上限。同月に複数回支給があれば合算で上限適用
<input type="checkbox"/>	賞与の健康保険料の自己負担額を計算した - 基準：標準賞与額×健康保険料率÷2
<input type="checkbox"/>	賞与の介護保険料の自己負担額を計算した - 基準：40歳以上64歳以下のみ、標準賞与額×介護保険料率÷2

6.賞与控除の計算

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	賞与の厚生年金保険料の自己負担額を計算した - 基準：標準賞与額×18.3%÷2
<input type="checkbox"/>	賞与の雇用保険料は賞与総支給額を基礎に計算した
<input type="checkbox"/>	賞与支払届の提出期限を確認した - 補足：賞与支払日から5日以内
<input type="checkbox"/>	賞与控除の内訳と合計が一致することを確認した

7.改定イベントの判定と再計算

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	年度の料率変更がある場合、適用開始月を資料で確認した - 補足：協会けんぽは「3月分から変更」といった案内になる
<input type="checkbox"/>	料率変更月について、控除月と納付月の対応を整理し、誤控除がないことを確認した
<input type="checkbox"/>	標準報酬月額の変更があった場合、適用開始月から再計算した
<input type="checkbox"/>	差額が発生する場合、翌月以降での調整控除方針を社内ルールに沿って確定した

8.年収別の目安の使い方

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	年収別の数値は概算として扱い、実務の控除額確定に使わないことを確認した
<input type="checkbox"/>	年収別の目安を参照する場合、前提条件を必ず固定した - 補足：勤務地、加入先、年齢区分、賞与の支給条件、料率年度が一致していること

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	協会けんぽの場合、料率は年度と支部で変わるため、対象年度と勤務地の不一致を防ぐ
<input type="checkbox"/>	介護保険は40歳以上64歳以下が対象のため、誕生日到来月付近で再判定する
<input type="checkbox"/>	賞与は標準賞与額の端数処理と上限適用で差が出るため、計算前に必ず点検する
<input type="checkbox"/>	料率変更は「対象月」と「納付月」が異なるため、控除月の取り違えを防ぐ
<input type="checkbox"/>	端数処理が未固定だと毎月の差異が発生するため、社内ルールとして固定し規定する

※2026年3月時点の情報をもとに作成しています